

第53回 子規顕彰松山市小中高校生俳句大会



第53回子規顕彰松山市小中高校生俳句大会で7,132句の応募の中から選ばれた、グランプリ4句と特選135句を紹介します。
※□は複数の選者に選ばれた句(掲載作品以外を含む)。()内は学校名・学年(敬称略)

高等学校の部



アロハシヤツ
着こなす祖父は
元兵士

上田紗里緒
(新田青雲中等教育5年)

8月15日、夏休みの真っ只中に終戦記念日があります。かつて日本はハワイ真珠湾を攻撃して宣戦布告し、戦争が始まりました。そこで、アロハシヤツと兵士という言葉が浮かびました。一見すると何の関係もなさそうな言葉ですが、終戦から長い年月が経ち、今は平和な時代を生きているという思いを句にしてみました。グランプリ受賞に驚きと喜びでいっぱいでした。ありがとうございます。

中学校の部



**節くれの指
白桃を
さつと剥く**

佐伯 ユウ
(東中3年)

私の祖父は、私が小さいころから、親戚が集まったり、祝いの席があったりするたびに、果物を用意してくれました。テーブルの皿の上で、器用に包丁を使って皮を剥き、食べさせてくれました。その中でも、夏の桃は格別でした。この夏、祖父と共に受賞を喜べることがうれしかったです。

小学校下学年の部(1~3年生)



**くりの実が
こつんこつんと
屋根を打つ**

岡本 珠実
(桑原小3年)

まさかわたしが受しよつるとは思つてもいなかつたのでびつくりしたけれど、受しようできたのでうれしかったです。わたしはくりこはんが大好きなので、秋になったら早くくりひろいに行きたいなと思つて、くりの実があたりながらおちていく様子を思いつかべながらはいくをつくりました。

小学校上学年の部(4~6年生)



**ぬげがらや
ブロックをさす
セミのつめ**

波部 唯晟
(清水小5年)

夏休みに、庭でセミのぬげがらを見つけた。近づいてみると、ブロックにつめで体をしっかりと固定していました。木の上では、セミの鳴き声がひびき、力強さや生命力を感じたのでこの句を作りました。受賞を聞いておどろきました。ありがとうございます。

福谷 俊子 選
ごめんねと言えない妻は青いまま
一宮 聖愛(大附属高2年)
秒針の音に身構え原爆翌
栗山(新田青雲中等教育4年)

江崎 紀和子 選
紙の上の白なまま輝時雨
安岡 美羽(大附属高2年)
草の花揺れてまた明日
寺田 紫乃(松山西中等教育4年)

森川 大和 選
終戦日浴び急ぐよなき水
中西 優奈(松山南高部分校1年)
いもつこの妻わらばしハスの中
今田(ひかり)松山商業高3年

木下 節子 選
さあ来いとグロリア鳴らす炎天下
若松愛理沙(大附属高1年)
春の暮未知とながるコンセント
小野植杏果(松山中央高1年)



子規顕彰松山市小中高校生俳句大会表彰式の様子

細川 美保 選
何もかもよけて生きたい金魚の尾
尾野木朝世(旭中3年)
春雷や急げ我に一喝す
村上 耕琉(久谷中2年)

尾後 千恵 選
春雷や急げ我に一喝す
村上 耕琉(久谷中2年)
節くれの指白桃をさつと剥く
佐伯 ユウ(東中3年)

武田 香織 選
点滴の粒を数える熱帯夜
今岡孝太郎(北条南中1年)
今年から母のお下がり浴衣帯
森 芙蓉(松山西中等教育1年)

角田 鉄平 選
復興の狼煙のごとき花火かな
白方 雅久(旭中2年)
油照り骸の虫を喰らう虫
竹永 悠人(雄新中1年)

竹縄 隆子 選
春の日に揺れるスカート白い靴
水中心(なな)垣生中1年
節くれの指白桃をさつと剥く
佐伯 ユウ(東中3年)

矢野 裕司 選
地球から火星はなれて秋の風
村上 心雪(新玉小5年)
青嵐肩を並べるストローク
上甲 涼帆(雄郡小6年)

大久保 礼子 選
青嵐肩を並べるストローク
上甲 涼帆(雄郡小6年)
ぬげがらやブロックをさすセミのつめ
波部 唯晟(清水小5年)

茨木 里子 選
飛行機の残した手紙夏の空
金子 佳貴(味生小5年)
ぬげがらやブロックをさすセミのつめ
波部 唯晟(清水小5年)

向井 京子 選
夏休み短くなった縄を跳ぶ
清水 賢真(味生小6年)
ばあちゃんのあれそれあそこわかる夏
浅尾 元(久米小4年)

矢野 三佳里 選
読みふける本の中から秋の風
池内 聖奈(みどり小5年)
残響の白ラジオの声も小声なり
田中 光瀬(見小6年)

池田 尊之 選
夏休みはじめてわつたなまま
西山 姫依(福音小2年)
せみのほね立ててもちこちのあな
首藤 惟吹(雄郡小2年)

高須 智子 選
ゆかた着てつはいたままおどろ
福田 悠真(蓮田小3年)
アサガオの笑顔をしおりに閉じこめる
後藤 光雄(粟井小3年)

吉岡 亜紀子 選
くりの実がこつんこつんと屋根を打つ
岡本 珠実(桑原小3年)
妹がみかんを「かんと」手をのぼす
堀内 理名(伊台小3年)

吉見 香奈子 選
雪げしき猫がまるく見ているよ
山田 美花(番町小3年)
くりの実がこつんこつんと屋根を打つ
岡本 珠実(桑原小3年)

兵頭 俊昭 選
見つけたぞおのかけかららむか
寺岡 拓歩(福音小2年)
ほらみてよのひらささのあさが
おを 山本 朱莉(味生小1年)